

第40回 全国中学校軟式野球大会

『重ねた努力 流した汗 光い輝け 中国の地で』

青空のもと始まった第40回全国中学校軟式野球選手権大会。今年は、先月の平成30年度7月豪雨の影響で開会式を行わず、各会場で開始式が行われました。20日からの4日間、呉市二河野球場・東広島運動公園野球場・広島総合グランド野球場の3会場において、各地区の厳しい予選を勝ち抜いた25校、総勢450名の選手が熱戦を繰り広げます。多くの皆様からの温かいご声援をよろしくお祈りします。

歓迎のことば

呉市立安浦中学校 野球部主将 小川透矢

全国からお集まりの選手の皆さん、全国大会出場、おめでとうございます。たくさんの方が、今日のこの日、この時を待ち望んでいたことと思います。皆さんは、毎日の厳しい練習、各地区の激戦を勝ち抜いて、この場に立っています。今年の全国大会は、広島県呉市をメイン会場とし、東広島市、広島市で開催されます。

ここで広島県について、少し紹介させていただきます。広島県といえば、牡蠣にレモンといった海産物や柑橘類が有名です。特に呉は、造船のまちで戦艦大和のふるさとでもあります。また、テレビ放映中のドラマ「この世界の片隅に」の舞台でもあります。

このたびの、7月6日からの西日本災害豪雨によって、広島県のあちこちが大きな被害を受けました。土砂崩れや川の氾濫などにより、家が倒壊し、僕の通っている学校やグラウンドは土砂に埋まり、僕たちは、野球の練習ができなくなりました。最後の大会直前に「なんで、こんな時に」とくやしい思いで胸がいっぱいになりました。しかし、各地から集まったボランティアの方々、警察・消防・自衛隊の方々の温かい声かけや支援によって、徐々に復興に向かっていきます。僕たちも、ボランティア活動に参加し、地域の方々のふるさとへの熱い思いやへこたれない強さを身近に感じる事ができました。毎日、くたくたになるまで仲間や先生と一緒に白球をおって、野球ができる幸せをしみじみ感じました。この全国大会を迎えるにあたって、僕たちも広島県の代表として、各球場や練習会場でグラウンド整備や環境美化などいろいろな役割を果たしながら、応援していきます。どうぞ、25チーム450人の皆さん、一試合一試合、最後の一球まであきらめず集中して、見るものを引きつけて離さないようなゲームをしてください。期待しています。



【優勝旗返還】



【歓迎のことば】



【決勝戦が行われる呉二河野球場】

【始球式の様子】



